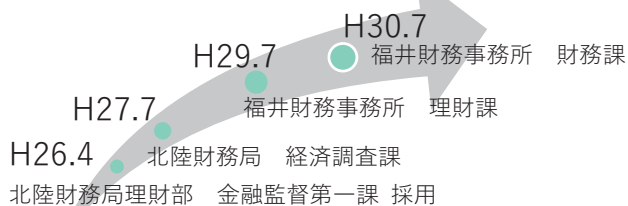




～ 採用から出向まで ～



山崎 美里

Yamazaki Misato

財務省出向者より

私は、北陸財務局で採用後、金融監督、経済調査、財政投融资等の業務を経験し、財務省理財局に出向しました。

出向してから、最初の2年間はたばこ塩事業室でたばこの小売販売業に関する業務を経験し、小売店や農家、メーカー等の業界団体や関係省庁と連携しながら、たばこ事業の様々な課題の解決に向けて検討を行いました。健康意識の高まりや技術の発展等、たばこを取り巻く環境が日々変化する中、どのようにたばこを販売していくべきかという答えのないことを検討することは難しくもありましたが、本省庁ならではの業務であり、充実感がありました。

また、たばこの小売販売に関する各種許可や届出の処理といった業務は財務局で行われているため、財務局の担当者とWEB会議を行いながら、一緒に解決策を検討するということもありました。私は財務局でたばこ業務を経験していましたが、本省での業務を通じて、地域目線と国全体を捉える目線の両方を持つことが重要だと改めて感じました。



▲執務室での様子

財務省に出向し3年目となる現在は、財政投融资部門で財政投融资分科会の運営業務を担当しています。業務内容が昨年までとは大きく変わり、新鮮な気持ちで毎日勉強しているところですが、分科会委員の先生方の鋭い議論を間近で触れられるという貴重な経験ができ、良い刺激になっていると感じています。

財務省はスピード感が求められる業務が多い上、役職問わず自分でより深く学び、考えることが求められ、時には上司から鋭い指摘を受けることもあります。そのため、なかなか思うようにいかず大変なこともあります。自分で検討した内容について上司の理解が得られ、後押しをもらいながら案件を進められたときは達成感がありますし、自分の糧になっていると実感しています。

また、「本省＝怖い」というイメージを持つ人もいられるかもしれませんが(少なくとも私はそう思っていました)、実際には財務局・本省ともに穏やかで頼りになる人が多く、困ったことや悩みを相談しやすい環境にあります。



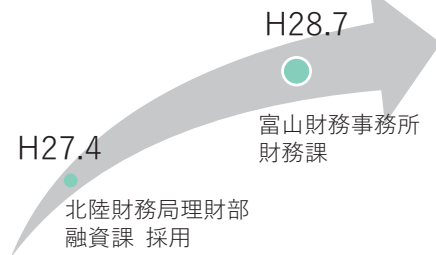
▲係での打合せ

私は就職活動の際、地域に根差した仕事と国全体に関わる大きな仕事の両方をやってみたいという漠然とした思いから財務局への就職を決めました。実際に両方の業務を経験できて非常に充実していますし、私のような欲張りな人には良い環境だと感じています。

最後になりますが、このパンフレットを見てくださった皆さんと一緒に仕事ができる日が来ることを楽しみにしています。



～ 採用から出向まで ～



見砂 将之

Misago Masayuki

金融庁出向者より

私は平成27年に北陸財務局に入局し、財務局及び財務事務所において財政融資、経済調査といった業務を経験した後、平成30年7月から財務省へ出向し、令和3年7月からは金融庁へ出向しています。

ここでは、私が財務省・金融庁等に出向してから経験した業務を簡単にご紹介します。

財務省では地方課という部署に3年間所属し、財務専門官試験の運営業務(採用パンフレットの作成や試験運営等)や職員のワークライフバランスの推進等、人事関連の業務に携わったほか、全国の財務局で新たに発生する業務に対応するための部署の創設、各部署の配置人数の検討等の業務に携わりました。これらの業務を通じて、「財務局」という職場について、より深く知ることができたと思っています。

また、財務省在籍中に、たまたま「外務省に行ってみないか」と上司に声を掛けられ、2018年に大阪で開催された「G20 サミットの準備事務局」へ出向し、外国人報道担当者の対応業務(会議開催までの準備(案内作成等)、当日の受付や誘導)にも携わりました。会議の場では、英語での現場力が求められ、大変ではありましたが自身の英語力を磨くことができ、かけがえのない経験ができました。

その後、金融庁へ異動し、1年目は協同組織金融室というところで、全国の信用金庫・信用組合の決算状況の分析業務に携わりました。分析業務では、約400先の信用金庫・信用組合の決算状況を、Excelを駆使して取りまとめる必要があり、日々の勉強が欠かせませんでしたが、数値のミス無く、分析資料が出来上がった際には、非常にやりがいを感じました。そして現在2年目に入り係長に昇進し、監督調査室というところで、主に金融庁の行政方針や政策評価の策定、国会対応の窓口業務等、まさに中央省庁ならではの政治的かつダイナミックな業務に携わっています。業務自体は、スピード感が求められ、分量も多く大変ですが、『自分が携わった』行政方針等の政策が金融庁HPに公表された時などは、その頑張りが報われた気がして、非常にモチベーションが上がりました。

上記でご紹介させていただいたのは、中央省庁の業務のほんの一部ではありますが、どの業務も、国全体に影響がある業務で、貴重な経験ができたと思っています。財務局は、地域のために働くこともでき、希望次第では中央省庁でも経験を積める等、柔軟かつ幅広い働き方ができる職場であると思っています。



▲国会対応には欠かせません



▲北陸局からの出向者と休憩スペースにて談笑